

全校田植え

ペアといっしょでたのしいな

一年

ぼくは、たうえがはじめてでした。どろにうもれて、ぐちゃぐちゃしたけれどたのしかったです。ペアのるかくんが、「ここにうえて。」と、おしえてくれたので、まちがえずにうえられました。たのしかったので、またらいねんもやってみたいです。



【6年と一緒に初めての田植え体験】

楽しくてあつという間の田植え

四年

全校で田植えをしました。四年生は三、四時間目にやりました。さいしよは、どろの中で動きにくかったけれど、なれてくると動きや

すくになりました。苗を植える目印に合わせて、たくさん植えることができました。苗を植えるのは楽しかったので、あつという間に終わりました。秋になって、田植えをした苗が、お米になったら、全校でおいしく食べたいです。



【苗を持って泥の中を歩く3年生】

田植えができるありがたさ

五年

地域の さんや さんに苗の植え方を教えていただきました。私は、教えてもらったことに気を付けながら、苗を三、四本とって、どろどろの土の中に植えました。田植えをしていると、ひざのところまでうまってしまい、とても動きにくくなって大変でした。

総合の授業で、米作りの作業について調べています。私たちが行った田植えよりも前に、地域の方が様々な作業をしていていることが分か

りました。だから、これから、苗がどのように成長していくかをしっかりと観察し、稲刈りまで大切に育てていきたいです。

小学校最後の田植え

六年

小学校生活最後の田植えは、一年生とペアになって取り組みました。ペアの子が田んぼに入ったとき、悲鳴をあげていました。わたしは田植えの経験があるので、驚いていない一年生を見て、とてもかわいいなと思いました。一緒に苗を植えていくと、腰が少しづつ痛くなりました。昔の人は、毎年この作業を繰り返し行っていたのかと思うと、とても大変だったろうなと感じました。秋の収穫が、今から楽しみです。

毎年、講師のみなさんに教わってきたので、感謝の気持ちも忘れないようにしたいと思いました。

研究授業『学び合い』

六月二日に、信州大学教授の 先生を招聘し、六年生の子どもたちに『学び合い』で算数の授業をしていただきました。

一緒にやる『学び合い』

六年

先生の『学び合い』の時間、ぼくはみんなと協力し、たくさん友達と教え合うことができたと思います。『学び合い』のよさは二つあります。一つ目は、いろいろな人と話し合えるところです。自分の考えに自信がもてるし、考えが似ていると安心します。二つ目は分からないときに助け合えるところです。困ったときは、友達が「こうやって考えるといいよ」と、問題を解くこつを教えてくださいます。一つの答えを出すのに、いろいろな方法があることを知りました。これからも、『学び合い』を通して、全員が問題を解決できるようにしたいです。



【指導して下さった地域講師のみなさん】



【『学び合い』で、友達に説明する6年生】

五年 山の学習

楽しかった山の学習

五年

一日目の山の学習の夜ご飯は、カレーライスでした。ぼくは、カレーの材料を切る係でした。玉ねぎを切っているときに涙が出てきましたが、がんばって切ることができました。

ご飯もカレーも、みんなで分担をし、協力して作ることができました。飯ごうでたいたお米はいつもよりもちよつとかたかったけど、弾力があつてもちもちしていました。山の中で食べたカレーライスは、いつものカレーよりもおいしかったです。上手にできて、うれしかったです。

みんなで協力した山の学習

五年

山の学習の思い出は、カレー作りとキャンプファイヤーです。カレー作りではみんなで協力してまきわりをしたり、野菜を切ったりしました。私はまきわりの担当でしたが、まきわりをしたのが初めてなので、五センチくらいの幅で切ることが難しかったです。カレーはにんじんとじゃがいもが少しかたかったけど、みんなで協力して作ったカレーは、とてもおいしかったです。キャンプファイヤーはミニゲームがあつておもしろかったです。山の学習に行くことができて本当に良かったです。

たくさんの思い出が残った山の学習

五年

ぼくの山の学習のいちばんの思い出は、みんなでカレーライスを作ったことです。ぼくは、炬を作る担当でした。炬を作るときに、大きい石を土台にし、その上に小さい石を積んで、くずれないようにすることが大変でした。他の子が、ご飯やカレーの用意をしてくれました。みんなで協力して作ったカレーはとてもおいしかったです。他にも、キャンプファイヤーでは、ゲームや先生たちのスペシャル劇がおもしろかったです。一泊二日の山の学習はとても楽しく、最高の思い出になりました。



【飯ごうでご飯作り】



【アスレチックに挑戦】



【5年生 少年自然の家での山の学習】

体験型防犯教室

どきどきしたぼうはん教しつ

二年

わたしは、にげ方や大声の出し方をれんしゅうしました。ぼうはん教しつで、自分や友だちをずっと見ている人や後ろからゆっくり近づいてくる人、「やめて」と言っているのに、しつこく「カラオケに行こう」「おくつて行ってあげるよ」と言ってくる人があやしい人だということが分かりました。ふしんしゃは、二十メートル走ると、おつてこないことも知りませんでした。これからも、ふしんしゃがいたら、ならつたことを生かしていきたいです。

ぼうはん教室で学んだこと

三年

五月二十一日に、体育館でぼうはん教室がありました。このぼうはん教室で、ぼくが心に残っているのは、ぼうはんブザーを鳴らしながら、大声を出して逃げる練習です。けいさつの人が本当においかけて来たので、少しこわかつたけど、おもしろかったです。

今回、学んだことを生かして、もしものときも、しつかりと身をまもりたいです。



【不審者から逃げる練習】



【大声で「助けて！」と叫ぶ子どもたち】

子ども会「G1グランプリ」

子ども会活動として、今年度最初のイベント「G1グランプリ」を五月二十八日に開催しました。G1の「G」は、「Gomi(ごみ)」を表しています。この活動は、子どもも大人も縦割りチームに分かれ、学区をウォーキングしながらゴミを拾い、その量を競います。初めての活動内容になるため、たくさんの方々の方々からアドバイスを受け、安全対策を万全に講じてきました。当日は、天気にも恵まれ、高学年を中心に作戦を立てながら活動しました。おかげで学区も心もすっかりきれいになりました。

◆優勝「ザ」チーム



【「G1グランプリ」で、学区をきれいに】

岡崎をきれいに

五年



G1グランプリは、六つのチームに分かれてゴミ拾いをし、その量で競います。ぼくたちは、つぶれた空きかんやペットボトルなど、みんなが協力してたくさんゴミを拾うことができました。ガードレールの反しや板も落ちていて、おどろきました。ぼくは、土曜日の朝、友達と一緒に学区のゴミ拾いをしています。そのときも、家電ややかんなどが山の中に足のふみ場がないくらい落ちていました。

G1グランプリでは、二位でくやしなかったけど、それよりもぼくたちが住んでいる町に落ちていたゴミがなくなっただけで、嬉しいです。これからは、G1グランプリや友達とのゴミ拾いで自然を大切に、大好きな学区をきれいにしたいと思います。

学校評議員紹介

様 様 様 様 様

常南の心

好きこそ物の上手なれ

六年担任

教室でよく「昨日は一日習い事の練習があつて疲れた」などの言葉が聞こえてくる。社会人になって十数年が経ち、仕事と家の往復で時々趣味の時間をもつという日常を過ごしており、こしはばらく仕事以外で胸が熱くなるような出来事に出会っていないことに気が付いた。

私自身、小学校四年生で友達に誘われてバレー部に入部以降、年中練習に追われ、高校に至っては寮生活をしながら強豪校に進学し、バレーに打ち込んだ。周りの仲間との支えと練習の成果、強運もあり、上位大会で結果を残すことができた。しかしその頃の自分は、辞めたいと思うことの方が圧倒的に多かった。その理由はなぜか…。受動的だったからである。誰しも自分で決めたことは責任をもって最後まで努力を続けるが、他者に強制されたことはどこか本気になれない場合が多く、逃げ道を作ってしまうように思う。好きだけど頑張れないのは、自分が納得できずにやらされていると感じてしまっていたからだといえる。

そんな私も、今年度六年生の担任となり、節目になる一年をともに過ごしている。この子たちもあと四年で自分の進路を自己決定し、自立の時を迎えていく。そのとき、自分の熱中していることや好きなこと、興味のあるものを自分の進路に織り交ぜ、健やかに、そして折れない心をもって過ごしてほしいと願っている。

31	30	29	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
水	火	月	月	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金
給食開始	3時間授業 一斉下校	2学期始業式	親子環境美化活動 全校出校日	夏休み	1学期終業式 一斉下校	給食終了 一斉下校	通学団会 大掃除 海の日			読み聞かせ				児童集会 委員会	予備日	P T A 資源回収	読み聞かせ			1学期保護者会 一力いっぱい検定	月曜集会 クラブ			3年交通教室 読み聞かせ

